

登米市のモノづくり集結

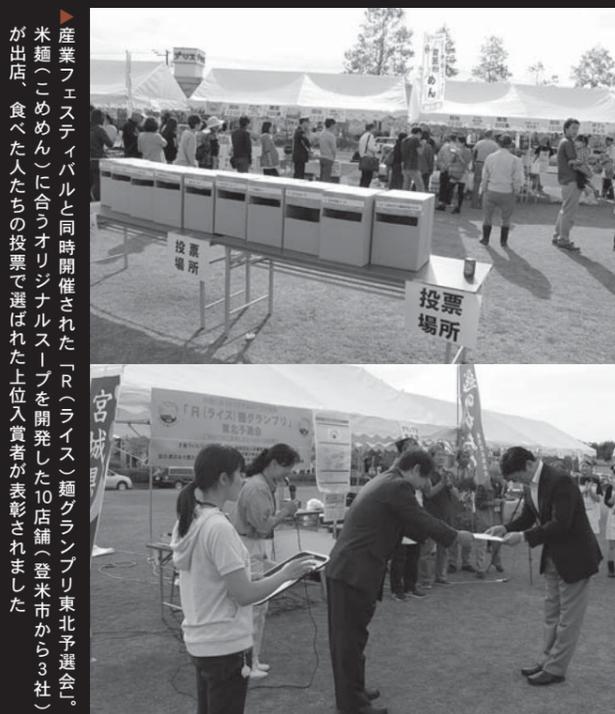
見て、触れて、体験



模範上横式で行われた餅まき。布施孝尚市長（左）らが屋根の上から餅をまくと、集まった人たちは大喜びで拾っていました



市内の高校もブースを開設。上沼高校の生徒が作る手作りポップコーンは、香ばしい香りがしました



産業フェスティバルと同時に開催された「R（ライス）種グループ東北予選会。米種（こめめん）に合うオリジナルスープを開発した10店舗（登米市から3社）が出店、食べた人たちの投票で選ばれた上位入賞者が表彰されました



当日の天気は秋晴れ。屋外のテントにもぎわいました。イベントの様子は、H@！（はっと）FMの特設スタジオから会場内に生中継されました



体験できるのが楽しい

三浦 睦さん（中田町下道）

子どもの友達家族6人で来ました。産業フェスティバルには毎年子どもたちと来ています。いろいろ見て体験できるのが楽しいですね。景品もいろいろもらえますし。私は登米市のおいしいものが食べられるのがうれしいです。今年はピザを自分たちで作って食べるコーナーがありました。とてもおいしかったですよ。



写真右が三浦さん



今回、初出展したトヨタ東北は、製造するハイブリットカー「アクア」のボデー部品を展示。注目を集めました



フェスティバルは「見る」だけでなく「体験する」も大きなテーマ。機械部品の組み立てを体験してみました